

【ご参考】 2021年3月期 第2四半期決算短信 補足資料

1. 当期連結業績の概要

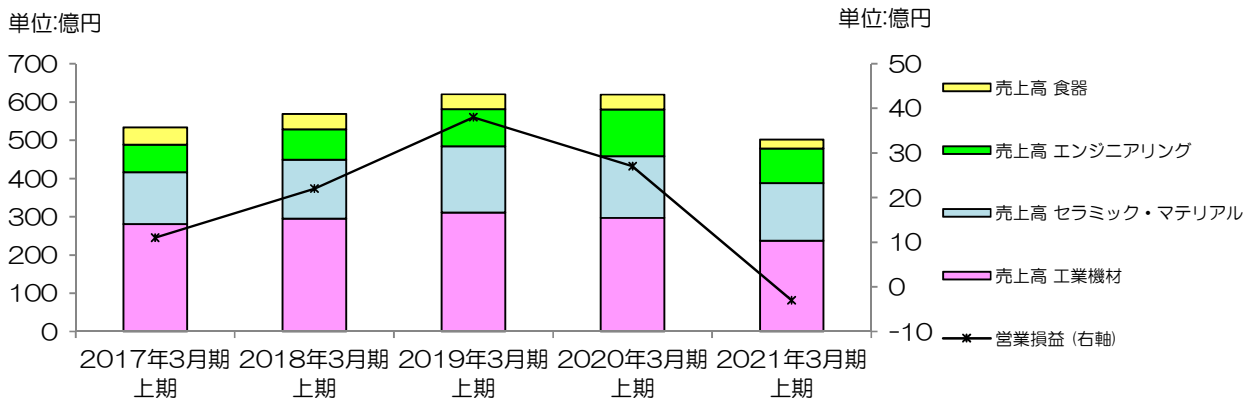
【業績】	
売上高 502億円（前年同期比 117億円減収）	
為替により、売上高 2.5億円減少（US\$ 1.7円円高、EUR 4.7円円高、THB 0.1円円高等）	
営業損失 2.6億円（前年同期比 30億円減益） 経常利益 6.6億円（前年同期比 31億円減益）	
親会社株主に帰属する四半期純損失 0.2億円（前年同期比 28億円減益）	
【連結の範囲】	
連結会社 23社（増減なし） 持分法適用会社 4社（増減なし）	
【特別損益】	
特別利益 0.0億円：固定資産売却益 0.0億円	
特別損失 0.8億円：固定資産処分損 0.3億円、特別退職金 0.4億円	
【中間配当金】	
中間配当 30円/株（前期中間50円/株） 期末配当30円/株 予定（前期期末50円/株）	

(1) 業績推移

（単位：億円 四捨五入）

		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	対前年同期比
		3月期	3月期	3月期	3月期	3月期	
		上期実績	上期実績	上期実績	上期実績	上期実績	
売上高	工業機材	281	295	311	297	237	△ 60
	セラミック・マテリアル	136	154	173	161	151	△ 9
	エンジニアリング	72	79	97	122	90	△ 33
	食器	46	41	39	39	24	△ 15
		534	569	620	619	502	△ 117
営業利益	工業機材	2.8	8.1	10.4	3.2	△ 15.2	△ 18.4
	セラミック・マテリアル	7.8	13.6	20.8	12.7	10.1	△ 2.5
	エンジニアリング	4.1	6.0	11.9	14.8	8.9	△ 5.9
	食器	△ 3.6	△ 5.5	△ 5.1	△ 3.8	△ 6.5	△ 2.7
		11.0	22.2	38.0	26.9	△ 2.6	△ 29.5
(売上高営業利益率)		(2.1%)	(3.9%)	(6.1%)	(4.3%)	(△0.5%)	-
経常利益		18.5	31.6	49.6	37.2	6.6	△ 30.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益		9.7	24.8	40.8	28.1	△ 0.2	△ 28.3
1株当たり四半期純利益		67.26円	172.64円	283.92円	195.56円	△ 1.44円	-
1株当たり純資産		5,231.82円	6,068.26円	7,147.09円	7,245.02円	7,083.18円	-
US\$ 為替レート		111.8円	112.1円	108.5円	110.0円	108.2円	-

売上高及び営業損益の推移（2017年3月期上期-2021年3月期上期）



(2) 設備投資及び減価償却費

(単位：億円 四捨五入)

	2020年3月期 上期		2021年3月期 上期	
	設備投資	減価償却費	設備投資	減価償却費
工業機材	14	10	8	11
セラミック・マテリアル	19	5	11	7
エンジニアリング	1	1	1	1
食器	1	2	2	1
管理部門	2	3	2	4
合計	37	22	24	24

(3) 有利子負債

(単位：億円 四捨五入)

	2017年3月	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2020年9月	対前期比
有利子負債	231	131	48	51	82	31
現金及び預金	113	185	141	126	127	1
ネット有利子負債	119	△ 54	△ 93	△ 75	△ 45	30

※ 有利子負債には、リース債務は含めておりません。

2. 2021年3月期の予想**(1) 重点施策**

コロナ禍での事業環境の変化に対応するため、これまでの基本戦略に最優先事項として「選択と集中の加速」を加えて取り組みます。

【工業機材事業】

- 開発・製造から販売までを通して分析し、採算性の良い商品群に経営資源を集中して収益性の向上を図るとともに、新商品開発により5G用先端材料や医療などの新分野、拡大分野での市場獲得を進めます。
- 中国、タイ、北米などの海外生産拠点の増強は、世界経済の動向を注視し、優先順位を決めて実施し、海外市場の開拓を進めます。
- グループ会社を含めた国内販売拠点の再整備を行い、効率的な販売・物流体制を構築します。

【セラミック・マテリアル事業】

- 電子ペースト事業では、5Gなど最先端の電子部品用の商品開発を推進し、国内外の重要顧客でのシェア拡大を図るとともに、開発テーマの選択と集中によりスピードを高めます。
- セラミックス事業では、石膏とセラミックコアの生産能力の増強と海外市場の開拓、触媒担体の次世代商品の開発を推進します。
- 電子部材は、積層セラミックコンデンサ用材料の生産能力増強によるシェア拡大と新商品開発に取り組みます。

【エンジニアリング事業】

- 次世代電池（リチウムイオン電池、全固体電池、燃料電池）などのエネルギー分野、電動化が進む自動車分野、エレクトロニクス分野での新商品開発、既存商品の高付加価値化、新用途開拓による拡販を進めます。
- カーボン系新素材や医薬・化粧品など新しい分野への参入と新用途展開に取り組みます。

【食器事業】

- 市場の選択と集中を進め、収益性の向上を図ります。国内では、流通販路や直営店の再整備、ネット販売の強化、アウトレットモールなどの新販路の開拓を推進します。海外では、電子レンジ対応商品の開発による米国市場の収支改善と、新興国市場の販売体制の強化を進めます。また、販売量に合わせた製造拠点のスリム化を図ります。

【設備投資金額】

設備投資 50億円 減価償却費 50億円

(2) 業績予想

(単位：億円 四捨五入)

	2020年 3月期	2021年3月期 業績予想				
		通期実績	上期実績	下期予想	通期予想	通期増減
売上高	工業機材	586	237	253	490	△ 96
	セラミック・マテリアル	322	151	154	305	△ 17
	エンジニアリング	223	90	95	185	△ 38
	食器	75	24	26	50	△ 25
		1,206	502	528	1,030	△ 176
営業利益	工業機材	2.6	△ 15	△ 10	△ 25	△ 28
	セラミック・マテリアル	22.2	10	13	23	1
	エンジニアリング	26.2	9	9	18	△ 8
	食器	△ 8.9	△ 7	△ 9	△ 16	△ 7
		42.1	△ 3	3	0	△ 42
経常利益	63.1	7	8	15	△ 48	
親会社株主に帰属する当期純利益	34.2	△ 0	5	5	△ 29	

(下期想定為替レート US\$=105円)